

平成 30 年度 第 1 回 役員会議事録

合同会社掛川電気引込工事センター

開催日時 平成 30 年 4 月 23 日 16:00～16:45

開催場所 掛川電気会館 2F 大会議室

出席者 (参 与) 中部電力㈱

掛川営業所 伊藤所長、森藤契約課長、山本配電建設課長、

磐田営業所 中村所長、豊澤営業課長、朝比奈配電課長

(一財)中部電気保安協会掛川営業所 村松所長

(欠席者：なし)

(副参与) 増田副長、市川副長

(欠席者：なし)

(代表社員) 鈴木

(業務執行社員) 松田、鶴田

(業務執行社員) 松永、大石、中根、市川、内山

(欠席者：なし)

(監 事) 斉藤、寺田

(欠席者：なし)

(事務長) 水野

< 議事の経過及び審議結果 >

鈴木代表社員の挨拶の後、中部電力(株)磐田営業所長の挨拶があり、
続いて鈴木代表社員が議長となり議題審議に入った。

議題審議

1) 平成 30 年度社員総会資料について (資料)

- ・平成 29 年度事業報告
- ・平成 29 年度収支決算報告
- ・平成 30 年度事業(案)
- ・平成 30 年度予算(案)
- ・商号変更の議案提案

2) 懇親会について (資料)

▶ 外部からの来場者

- ・(県)協力会 松本社長
- ・県工組 長谷川副理事長、
- ・中央会西部事務所 住川副所長
- ・掛信 岩堀支店長、
- ・会計事務所 大石所長

■挨拶(中電…中村所長)

■乾杯(保安協会…村松所長)

- 3) センターの商号変更について
5月9日に掛川学習センターにて、出資者への全体説明会を開催する
(総会資料の第5議案)
- 4) 中電㈱へ御礼
 - 防具の耐電圧試験(3月13,14日)
 - Sの再認定技能維持訓練(4月17,19日)
- 5) 中部電気保安協会へのお願い
 - 第2種電気工事士受験準備(学科)講習会の講師依頼(5月12,19,26日)
 - 職長教育依頼(5月10,11)
- 6) その他報知事項
 - 中部電力
理事に資料を配布した
 - 中部電気保安協会
感電事故の状況について

以上で全ての議題審議が終り、閉会となった。

閉会

この議事録はホームページに掲載後
鈴木代表が捺印を実施して、事務長が保管する。

平成30年3月吉日

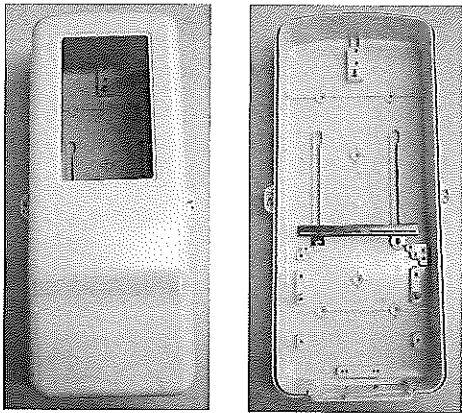
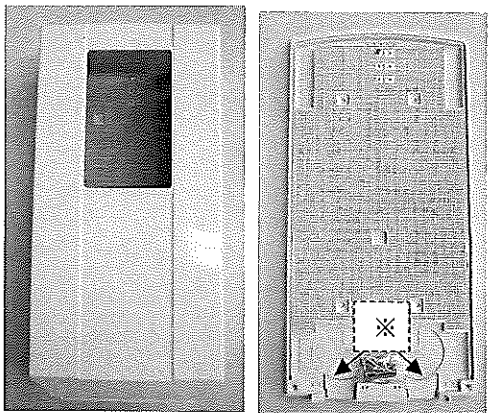
電気工事店 各位

中部電力株式会社

屋外用計器箱2L型の仕様変更について

屋外用計器箱2L型について、スマートメーターの取付・取替作業の作業性向上を目的に仕様を変更したことから、下記のとおり周知いたします。

1 仕様変更点

	現行計器箱2L型	新型計器箱2L型
外観		
色	ライトグレー、アイボリー	ライトグレー、アイボリー
外寸	高さ 563 mm×深さ 179 mm×幅 268 mm	高さ 563 mm×深さ 180 mm×幅 278 mm
特徴および 施工方法	<ul style="list-style-type: none"> SM250A 取付時、内板の取付が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> フリープレート式で、計器等の取付箇所を自由に選定可能です。 計器箱における「※」の箇所が取外し可能であるため、隠ぺい配線においても計器から配線を取外すことなく計器箱の取替が可能です。 SM250A 取付時、<u>内板の取付が不要</u>です。

2 変更時期

平成30年3月21日以降、メーカー在庫が無くなり次第、変更いたします。

3 支払

本仕様変更に伴う支払に変更はございません。

以上

電気工事店 各位

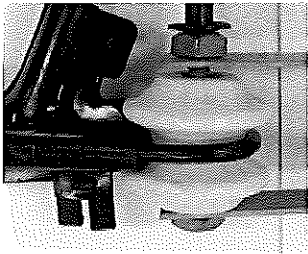
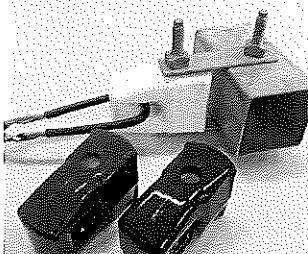
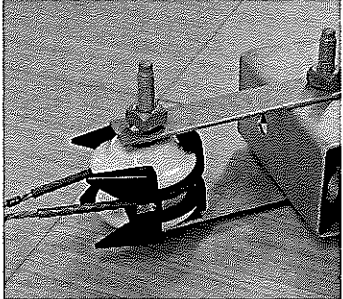
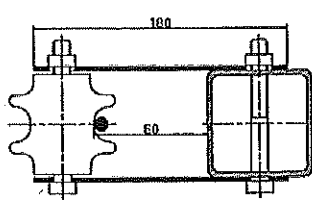
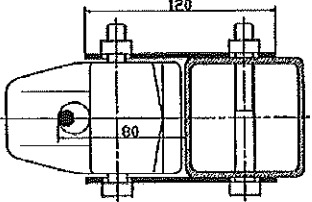
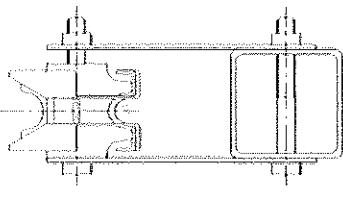
中部電力株式会社

低圧用引留グリップを使用する低圧線施設箇所の用品変更について

低圧用引留グリップを使用する低圧線施設箇所において、現在採用している低圧引留樹脂がいしに比べ、経済性に優れた用品として、低圧引留がいしに低圧用引留グリップと組み合わせて使用する「低圧用引留グリップアダプター」に変更しますので、お知らせいたします。

記

1 変更内容

	変更前		変更後
	低圧引留がいし	低圧引留樹脂がいし	低圧用引留グリップアダプター
形状 写真			
施工 イメージ			

<備考>

低圧用引留グリップアダプターは、金属柱・金属柱以外は問わず、低圧用引留グリップを使用する低圧線施設箇所（共同地線を含む）に適用します。

2 適用開始日

低圧引留樹脂がいしの在庫品がなくなり次第。

3 留意事項

本対策用品は、外線工事（低圧線工事）に適用するものであり、引込線工事は現行どおり、低圧引留がいしおよび小ストラップを使用するため、運用に変更はございません。

災害発生防止の観点から、引き続き胴綱の使用および検電の実施を徹底いただきますようお願いいたします。

以上